

Title: 鉄心石腸



高野 善介  
旅を通して、己を鍛え、自分のテーマの撮影に集中しようと思います。

## ● 最近のエントリー

Freeだ～！！  
(2011.09.04)

## ● アーカイブ

2013年05月  
2011年09月  
2011年07月  
2011年06月  
2011年05月  
2011年04月  
2011年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

鉄心石腸 &gt; 2011年09月 アーカイブ

11.09.04

## Freeだ～！！

[Tweet](#)[Check](#)

ご無沙汰しておりました。

高野です。生きてます。現在、中国にいます。更新遅れすぎて本当にすみません。

今、free期間を利用して写多という中国青海省の真ん中くらいのところの黄河の源流部に位置する町に滞在し、期待していなかったネットが使えることに感動しつつ、今回のブログを書いております。

中国は自分にとっていろいろと試されること多い国ですが、その分、撮影にもやる気が出る素晴らしい国でもあります。この旅を通して一番、成長させてくれる国であることは間違いないと思います。

私は、ネパールを最後にずっと中国の撮影を行っておりますので、ブログも撮影した都市から順に更新させていただきたいと思います。

リアルタイムに追いつくように努力しますので、よろしくお願いします。

まずは、撮影に行った都市の順番を、、、

香格里拉—重慶(本当は徳欽の予定でしたが、雨期の影響のため道がダメになって行けなかったので変更しました)—花石峡鎮(Free期間突入)—写多

上記の四つの場所で撮影しておりますので、まずは、香格里拉からよろしくお願いします。ちなみに、チベットですね。

香格里拉へは、徳欽に行くために寄ったという感じで、高山病の対策のために体を慣らすと思い過ごした町です。ですから主に観光をしていました。

まず、香格里拉の町の様子とその周囲の様子を、





発展と保存の二つが体験できる場所なのかもしれません。

私が最初に観光したのは、ナバ海と石卡雪山です。



一面が草原です。本当に観光地と化していて、観光客の人々が馬に跨がって遊覧しています。牛とヤクの群れにたくさん出会うことができるので、動物が好きな方はぜひ。

そして、石卡雪山です。



リフトに乗って頂上まで通りきくと、すばらしい景色が出迎えてくれます。



ガイドブックと同じ角度から遊歩道を撮影してみました。さすがに標高4000m超えているところは歩くだけでしたが、普段、日本で生活していると体験できない高さです。ので良い経験になりました。

ちなみに現在free期間に撮影に来ている地域も標高4000mを超えていますので、高山病には十分注意が必要です。

ボリュームが思いのほか多くなってしまいますので、二回に分けて書かせて頂きます。

では、また。タカノでした。

カテゴリ：  
post by 高野 遼介 | 日時: 2011.09.04 | [バーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)